

第10回「大阪府安全なまちづくり推進会議総会」概要

本年5月10日（木）、大阪国際交流センターにおいて、「第10回大阪府安全なまちづくり推進会議総会」が開催されました。

本総会には、大阪府知事、大阪府警察本部長、大阪市長、堺市長のほか、事業者・団体の代表者が出席し開催されました。また、関西国際大学教授の講演や、「安全で安心なまち大阪」の確立に向けた意見交換が行われました。

1 平成24年度の活動方針

- 目 標 街頭犯罪のさらなる減少
- 取組重点テーマ 子どもの安全・安心の確保

活動の基本方針

- (1) 各構成団体は、ひったくりをはじめ府民の身近なところで発生する犯罪の防止に向け、それぞれが防犯環境の整備など防犯対策を具体的に実施する。
- (2) 子どもの見守り活動や青色防犯パトロール活動などを始め、社会各分野の各層に防犯ネットワークをきめ細やかに構築し、子どもや女性の犯罪被害防止を推進する。
- (3) 少年非行防止のため、街頭補導活動や立ち直り支援活動を実施するとともに、官民が一体となった青少年の健全育成を阻害する有害環境を浄化する活動を実施する。
- (4) 府民一人ひとりの規範意識と地域の連帯感の醸成を推進し、地域コミュニティの形成と地域防犯力の強化による犯罪の起きにくい社会を実現する。

2 講演

『防犯環境とまちづくり』

講師：関西国際大学人間科学部人間心理学科 教授

桐生教授から、

- ① 防犯意識の向上
- ② 人材育成・防犯設計（防犯カメラなど）
- ③ 地域安全情報の発信

にポイントを置いた講演を行っていただきました。教授が、パワーポイントを活用して、防犯カメラの必要性や防犯灯の効果、地域安全情報の重要性等について説明されました。

3 大阪府知事、大阪府警察本部長、大阪市長、堺市長のコメント概要

大阪府知事（会長）

【あいさつ】

昨年の本会議で掲げた「街頭犯罪ワーストワン返上を確固たるものとする」という目標は、2年連続で「全国ワーストワン」を返上し、達成することが出来た。

行政の原点は、住民の皆様の生命と財産を守ることであり、その土台となる「治安」がしっかりしていることが不可欠と考えている。

府下の街頭犯罪の認知件数は、取組みの成果として年々減少している。しかし、平成22年に全国ワーストワンを返上した「ひったくり」が昨年再び最下位となった。また、近年増加傾向にある子どもに対する性犯罪への対策、少年の非行防止対策など、子どもを犯罪から守る取組みも課題である。課題解決のためには、今後とも警察、行政、府民、事業者の一体となった取組みが重要である。大阪府では、「安全、安心なまち大阪」の実現のため、総合的な治安対策や地域に根ざした青少年健全育成活動などに取り組んでいく。大阪府政への皆様の一層のご理解、ご協力をお願いしたい。

【意見交換会】

犯罪抑止の観点から防犯カメラを活用することは大事だと思う。

社会的に問題となっている犯罪に対しては、行政がしっかり国に対して法律改正を求めていかなければならないと考えている。

【まとめ】

ワーストワンではなく「ナンバーワンのまち」を目ざし、地域の皆様や警察、行政等が一体となり力を結集して取り組んでいきたい。今後ともご協力をよろしくお願いしたい。

大阪府警察本部長（会長代行）

【あいさつ】

「安全なまちづくり推進協議会総会」も10回の節目を迎え、その間、先程知事からの話にもあったように、刑法犯全体、街頭犯罪認知件数もかなり減っている。特に、一昨年、昨年と街頭犯罪ワーストワンを返上したという状況。これは、まさにオール大阪体制の賜ではないかと思っている。しかし、ひったくりや路上強盗等の犯罪、さらに子どもを対象とした犯罪については、全国的に見ると大阪は大変高水準で推移しており、府警では、街頭犯罪対策や、子どもや女性が被害者となる性犯罪対策を府警の重点として取り組んでいる。

今後とも皆様と力を合わせ「安全で安心なまち大阪」を実現して参りたい。ご支援等よろしくをお願いしたい。

【意見交換会】

（堺市長の「通学路の安全対策」の発言を受け）亀岡の事件は、非常に不安感の多い問題。防犯サイド、行政サイドを合わせ、通学路の点検は道路の体系等も含めながら幅広く、各自

治体と共に一緒に行っていきたい。

（講演を聞いて）防犯ボランティアについては、私も継続性が大切だと考えている。防犯カメラについては、その役割は、基本的には「防犯」であり、防犯カメラの存在が犯罪を抑制していると思う。結果として捜査にも役立つが、あくまでも犯罪を減らすというのが防犯カメラだと思う。

防犯カメラの映像は、犯罪捜査にとっては決定的なものになる。犯人が捕まったことにより次の犯罪を押さえることにもなる。そういう観点から今後とも防犯カメラの設置については、行政の皆様の協力をいただきながら設置を促進していきたいと思う。

大阪市長（副会長）

【意見交換会】

ひったくり、街頭犯罪について、この場で知事として皆様に御協力をお願いした。皆様のお力添えの甲斐もあって、平成22年には「ひったくり」全国ワーストワン返上を達成出来た。しかし、残念なことに昨年ワーストワンに返り咲いた。もう一度ワーストワン返上をしたいと思っている。

街頭犯罪、絶対的な数はかなり減少している。全国的に街頭犯罪が減るきっかけを作ったのが大阪府警の「街頭犯罪全国ワーストワン返上」に向けた取組み。だからこそ、今後も、メッセージ性、明確な行政の意思、警察の意思というもの、オール大阪の目標をしっかりと出していけないといけないと思う。

（講演を聞いて）防犯カメラは、しっかりやっていきたいと思っている。

あと、規範意識に関して。規範意識の醸成は、小・中学校の早い段階で何か対策を打つ必要があるのではないかと考えている。

堺市長（副会長）

【意見交換会】

今、地域の安全・安心の中で一番大きな関心は「子どもの通学路」の問題。市民から数多く危険な通学路の話を聞いている。通学路を学校・教育委員会あげて今総点検しなければならぬと思っている。「ガードレールをどうしていくか」、「順路を点検させるには、どうするか」について教育委員会等と協力して行いたい。第2の亀岡事件を発生させないためにも、気を引き締めて取り組む必要があると考えている。

堺市役所では、今日（5月10日）「職員美化の推進の日」とし、始業前に職員（約200人）が清掃活動を行った。今日が第1回目で、今後毎月1回、各区役所でもやる予定。

地域を綺麗にすることが、「安全・安心の第一歩」になっていくのではないかと考えている。是非みなさま方もその成果をそれぞれの地域で試していただきたいと思う。

※ 各コメントについては、本総会中に発言された要旨のみを記載しています。